



東洋大学は、財務会計システムを Oracle Cloud ERP で刷新します

AI が組み込まれた Oracle Cloud ERP により、経営分析の強化と業務の標準化・自動

学校法人東洋大学（本部：東京都文京区、理事長：安齋 隆）は本日、学校法人東洋大学の財務会計システムを「Oracle Fusion Cloud Enterprise Resource Planning (ERP)」で刷新することを発表します。対象業務は、財務会計、購買・経費、固定資産管理です。

東洋大学では、2037年に迎える創立150周年を見据えて、現在の大学、高等学校・中学校、幼稚園にとられず、今後あるべき総合学園のビジョンを策定しています。このビジョンを全学的に浸透させる上で、データに基づく経営判断や財務運営を可能にする財務会計システムが必要でした。従来はスクラッチで開発したシステムを利用していましたが、運用・保守にかかる負担を軽減し、持続可能で柔軟性の高いシステムへの移行を目指し、「Oracle Cloud ERP」を採用しました。国内外の大学における豊富な導入実績に加え、大学特有の周辺システムともAPIを通じて疎結合で連携が可能であり、将来的な拡張にも柔軟に対応できる点を評価しました。

東洋大学では、教職員がより生産的な業務に集中できる環境を整えるため、コストやカスタマイズを最小限に抑えたシステム移行を目指し、Fit to Standardアプローチによる「Oracle Cloud ERP」の導入を進めています。新しいシステムは2026年度中の稼働を予定しています。

学校法人東洋大学 寺田信幸常務理事のコメント

「東洋大学では、学内の業務プロセス全体を見直し、より柔軟かつ効率的な体制へ移行しています。AIや生成AIなどの最新テクノロジーを備えた『Oracle Cloud ERP』により、業務の標準化・自動化を促進します。将来的な拡張性と変化への対応力を備えた新しい財務会計システムの実現に期待しています。」

本プロジェクトは、株式会社 ADX Consulting が導入を支援しています。

Oracle、Java、MySQL 及び NetSuite は、Oracle Corporation、その子会社及び関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。NetSuite は、クラウド・コンピューティングの新時代を切り開いたクラウド・カンパニーです。

【報道関係の方による取材の問い合わせ先】

東洋大学 総務部広報課

TEL:03-3945-7571

MAIL : mlkoho@toyo.jp



東洋大学

【学校法人 東洋大学について】

東洋大学は 1887 年に哲学者・井上円了により「哲学館」として創立され、「諸学の基礎は哲学にあり」「独立自活」「知徳兼全」を建学の精神としています。創立者の志を受け継ぎ、東洋大学の教育理念である「物事の本質に迫って深く考え、考察を重ねること」を基礎とし、科学する力、実践する力を育てることで、地球社会の様々な課題に取り組む力を養うことを目指しています。

2025 年度現在、白山、赤羽台、川越、朝霞キャンパスに 14 学部 51 学科専攻と大学院 15 研究科を擁する総合大学へと発展しました。

東洋大学 HP <https://www.toyo.ac.jp/>